

和!わっ! 輪!

兵庫県立尼崎病院

〒660-0828

兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号

TEL 06-6482-1521 (代表)

FAX 06-6482-7430

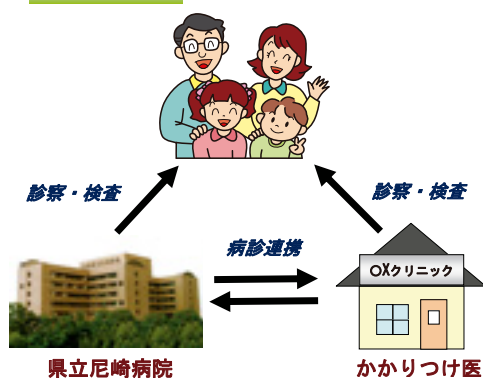
<http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>

地域医療室からの提案

「二人の主治医」って、如何ですか！

地域医療連携部長 齋田 宏

二人の主治医



昭和61年に県立尼崎病院が当地に移転して以来、当院地域医療連携室は、阪神間の地域医療機関との“病診連携”をおこなうことにより、地域に開かれた病院づくりを推進すると同時に、患者様への高度医療の提供に心がけてきました。

そして、この1月より県立塚口病院の呼吸器内科、呼吸器外科、脳神経外科が当院へ移動し、県立尼崎病院は、更なる急性期医療を担う基幹病院として患者様および地域医療機関より期待されています。

ところで、“病診連携”、我々医療者の間では耳慣れた言葉ですが、患者様の中ではどのように理解されておられるのでしょうか？ また、なぜ、“病診連携”が、今、必要なのでしょうか？

集中的な検査や治療を要する初期治療と、生涯にわたり管理治療が必要な長期継続治療、これら相反する治療に対して、ひとつの病院あるいは診療所が、効率的に質の高い医療を担うことは困難です。

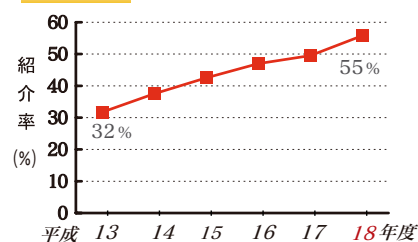
県立尼崎病院のような中核病院とかかりつけ診療所が、各自の診療機能に応じた役割分担を明確にし、相互に連携を取り合い患者様の医療情報を共有することにより、患者様に高度医療を提供するシステムが“病診連携”です。

すなわち、「より高度な医療を受けたい」、「かかりつけの先生に診てもらいたい」など患者様のニーズに対応した医療システムでもある訳です。

皆様のかかりつけの先生が、特別な治療や検査が必要と判断した場合には、先進高度医療機器を備えている県立尼崎病院へ紹介することが可能です。

実際、地域医療機関からの紹介率もこの6年間に増加傾向にあり、最近では初診患者様の半数以上を紹介患者様が占めるようになりました(右図)。

紹介率



左からの羽、松本、鮫島、齋田、橘、北川、桶田

一方、当院での初期治療が終了し

病状が安定すれば、かかりつけの先生へ患者様を逆紹介し継続的な診療をお願いします。

当院の主治医(専門医師)と近くのかかりつけ医(ホームドクター)、二人の主治医による病診医療連携が、皆様に地域に密着した継続医療を提供できると信じています。

その二人の主治医の連携をお手伝いするのが、我々地域医療連携室のスタッフです。

かかりつけの先生とご相談されながら当院の地域医療連携室を利用していただければ幸いです。

医療の交差点

耳鼻咽喉科部長 長谷部 誠司

頭頸部癌にかからないために…。

禁煙・禁酒に心がけましょう!!



禁煙



節酒

近年、口や鼻、のどにできる癌（口腔癌・鼻副鼻腔癌・咽頭癌・喉頭癌など）が増加しており、その多くは、食道癌や肺癌と共に重複多発する傾向にあります。

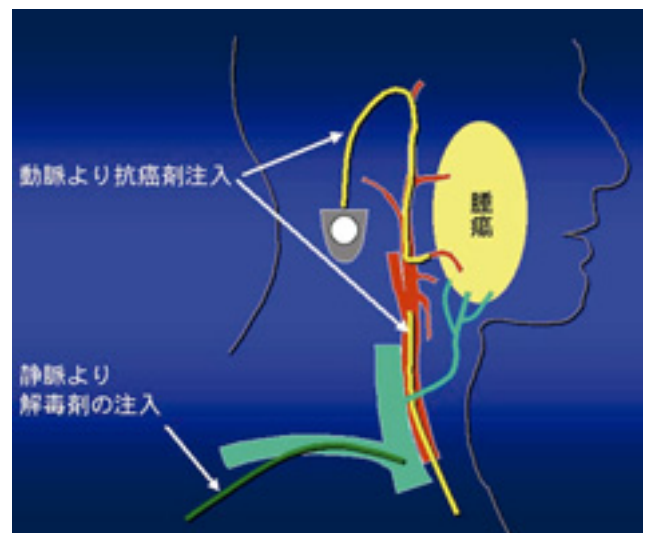
これら癌の発生には、喫煙と過度の飲酒が関係しており、平成15年には、WHOにより中・下咽頭癌、口腔癌、食道癌は飲酒関連癌として扱われています。

口やのどは、食事・会話にとって大切な器官であることは言うまでもなく、これらの機能を手術で失いたくないものです。口から食べられない、話ができないことは、日常生活において辛いことから…。

----- 当科における口腔・鼻副鼻腔・咽頭・喉頭の癌に対する治療方針-----

可能な限りの機能温存を目的とし、放射線科と共同で下記の治療方針で癌治療をとり行っています。

- 1) 癌の進行状況によっても異なりますが、まずは、放射線治療、抗癌剤治療、低侵襲手術を組み合わせた集学的治療を計画します。
- 2) しかし、治療に抵抗する例、あるいは、再発例、進行例では拡大手術が必要となる事があります。
- 3) 手術が困難な場合や手術をおこなっても高度の機能障害が残る症例に対しては、近年、超選択動注化学療法を取り入れています。これは、癌腫瘍を栄養する動脈に細い管を挿入し抗癌剤を選択的に動脈注入するもので、腫瘍内の薬剤は高濃度となり腫瘍縮小の効果を上げる治療法です（図）。



超選択的動注化学療法

いずれにしても、癌にならないように予防することが一番。

禁煙・禁酒に心がけましょう!!

頭頸部のがん検診をご希望の方は、当院耳鼻咽喉科にお越しください。



右から長谷部、河田、篠原、米谷医師

当院に最新鋭心臓超音波装置が導入されました！

3D画像にてより正確な診断が可能に

平成18年12月、生理検査に最新鋭3D搭載超音波診断装置を導入

この装置（フィリップ社製 iE33）は、鮮明な画像描出とともに立体画像（3Dエコー像）描出が可能で、心・血管系検査において世界最高峰の性能と機能を備えています。

鮮明な画像描出

この装置の目とも言える探触子（体に当てて心臓を検索する装置）は、PureWaveクリスタル・テクノロジーを採用し、従来にはない高品質の画像がえられます。また、患者様の体型にかかわらず、今まで超音波検査が難しいと云われてきた肥満や胸郭の厚い方にも対応でき、鮮明な超音波画像が描出できます。

新しい機能（リアルタイム3Dエコー）

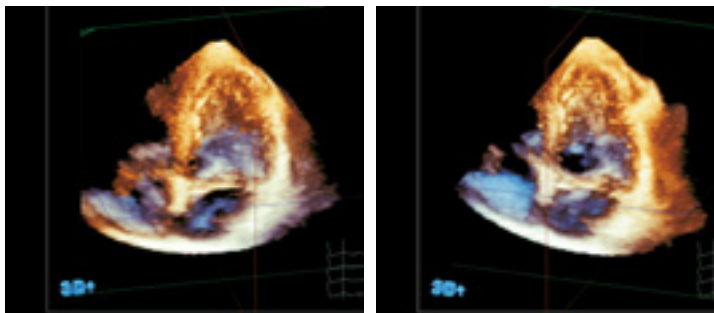
心臓が動いている状態で、立体的な画像をリアルタイムで描出できます。心臓内部構造、弁の性状、壁運動などリアルタイムで観察でき、より正確な診断ができます。数断面を描出するだけで心室の容積変化が構築され、従来難しかった心筋梗塞や狭心症などの心機能評価を行うことが出来ます。

患者様への病状説明やカンファレンスに利用

収集したデータは、DVDやビデオテープ等に容易に保存できるため、カンファレンスや患者様への病状説明の際に、心臓カテーテル検査や他の検査と併せて利用することにより、より詳細に病状を把握することが可能です。



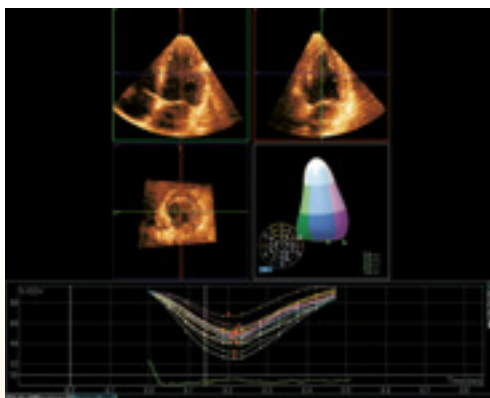
心エコー担当スタッフ
左手前から 加藤、甲元、竹中
右手前から 岡田、橋本、小野技師



3Dの画像（あらゆる方向からの観察ができる）



検査風景



立体画像による壁運動評価

手軽に何回も受けられる心臓超音波検査

団塊の世代の高齢化に伴い心臓疾患増加が予測され、心臓エコー検査の重要性が高まっています。新規導入された心臓超音波装置が活用され、これまで困難であった心疾患の診断や経過観察などに役立つものと期待しています。

（橋本 光彦）

検査をご希望の方は、主治医にご相談ください。



ルポ

県立尼崎病院 市民健康公開講座 “すこやかセミナー”に参加して

県立尼崎病院では、患者様の間や医療の現場にて今話題になっていることをテーマにあげ、当院の医師や看護師、専門スタッフにて判りやすく解説させていただく市民公開健康講座“すこやかセミナー”を定期開催（年4回）しています。

平成18年12月4日すこやかプラザにて、第10回“すこやかセミナー”が、「傷の治療 常識！非常識？」「傷がなおったあと」というテーマで形成外科の副島宏美医師と大西勝博医師のもと開催されましたので、その様子を報告したいと思います。

講演では、傷ができてしまったらどうしたら良いのか？ 傷を早く治すにはどうすれば良いのか？ という内容ですが、私たちは大きな勘違いをしていたようです。

解答は、傷口を①消毒しない、②乾燥させない、③水道水でよく洗うことが最低の条件だそうです。来場者からは、「傷は消毒するのが当たり前に思っていたが、実は間違っていたと知って驚いた。」というご感想がありました。

また、手術痕や傷痕にできるケロイドは、ただの傷痕ではなくて、治り方が異常を示す病気の一つだと言うお話については、『ケロイドになっている傷跡が痒いなー』と気にはなっていたが、治っている傷だと思い込んでいたので、病院にかかれるなんて思いもしなかった。」など、いろいろなご感想をいただきました。

公開セミナーを通じて、日頃からなんとなく気にしていたことの答えや、治療を諦めてしまっていたことへのお手伝いのできたのではないかと思います。

これからも、様々なテーマで“すこやかセミナー”を開催する予定ですので、皆様、奮ってご参加ください!!
(的 場)

次回予告 テーマ：「ここまでわかる放射線診断」

日 時：平成19年3月16日（金）14:00～15:30
場 所：フェスタ立花 すこやかプラザ 多目的ホール
参加費：無料 (JR 立花駅南側)

すこやか家庭介護教室 介護のコツを一緒に学びませんか？

高齢化に向けて負担の少ない介護のコツを学び、実際に介護体験などを語り合えたらと思っています。1日だけの参加でもOKです。皆さんの参加をお待ちしています。

- 第1日目 平成19年2月13日(火) 13:00～16:00
介護の心得、脳卒中の知識、身体の動かし方、床ずれ予防、肩こり体操
- 第2日目 平成19年2月14日(水) 13:00～16:00
シーツ交換、寝衣の交換、排泄の介助、ポータブルトイレ移動、腰痛体操
- 第3日目 平成19年2月15日(木) 13:00～16:00
高齢者の栄養と食事、口の中の清潔、車椅子の操作

場 所：県立尼崎病院 2階講堂

参加費：無料

応募期間：平成19年1月8日(月)～2月13日(火)

申し込み方法：電話もしくは参加される方の住所・氏名・電話番号を記入の上往復はがきでお申し込みください。

申し込み先：〒660-0828

尼崎市東大物町1丁目1-1

兵庫県立尼崎病院 看護部 介護教室担当者宛

電話：06-6482-1521 内線521 (9:00～17:00)



編集後記

私たちの日常には色々な「わ」があります。「わ」は漢字に置き換えると「和」「輪」。「和」はハーモニーの「和」。お互いを思いやり仲良く和む心が、場を和らげ調和を生み出します。「輪」は人間関係の輪、理解の輪、共感の輪…。そして、その根本にあるのが、コミュニケーションの「輪」。輪はコミュニケーションすればどんどん大きくなっていきます。

病院スタッフ間の「和」と「輪」。患者様と県立尼崎病院の「和」と「輪」。

そして、すべての人々の理解の「輪」が、もっともっと、広がりますようにとの願いを込めてタイトルを『和！輪！わっ！』と名付けました。皆さんもそれぞれ色々な「わ」を見つけて広げていきましょう。

(橋本 光彦)

「和！輪！わっ！」に対するご意見・ご感想をお待ちしております。

Mail info@amahosp.amagasaki.hyogo.jp

Tel 06-6401-5115

Fax 06-6482-5774

県立尼崎病院
地域医療室